

2019年8月28日

各 位
プレスリリース

株式会社農業総合研究所

JAL x 農業総合研究所 ～旭川空港集荷場開設に関するお知らせ～

当社は、2019年1月7日付で公表した「(開示事項の経過) 日本航空株式会社との空港集荷場開設に伴う業務委託契約締結に関するお知らせ」でご案内した、日本航空株式会社(所在地: 東京都品川区、代表取締役社長: 赤坂祐二、以下「JAL」)との農産物流通事業において、2019年8月19日に旭川空港(所在地: 北海道上川郡東神楽町)に、生産者が直接農産物を持ち込める集荷拠点(以下「集荷場」)を開設したことをお知らせいたします。

1. 事業概要

当社とJALは、当社の農産物販売プラットフォームとJALの航空輸送ネットワークを掛け合わせ、2017年7月以降共同で農産物流通事業を実施してまいりました。事業は順調に拡大し、2019年7月には当社初の空港施設を拠点とした集荷場を新千歳空港内JAL貨物上屋に開設いたしました。そして今回、道内でも都市近郊型農業として発展している旭川市に隣接し、またJAL貨物応需可能な条件が揃っている旭川空港内に、新たに全国で2拠点目となる空港集荷場を開設しました。新千歳空港と同様、集荷場運営業務はJALに委託します。

空港集荷場開設により、空港近郊の生産者からの農産物出荷を促し、収穫から出荷までのリードタイムを短縮することが可能になります。これらの拠点から引き続き、北海道産農産物出荷の拡大に取り組んでまいります。

両社は今後も北海道からの農産物供給体制を整備・拡充し、関東圏を中心とした全国各地への出荷、そして海外輸出を目指してまいります。

2. 旭川空港集荷場

《旭川空港集荷場》(※当初予定)

【取扱規模】500kg～1t 【取扱品目】トマトやトウモロコシ等の果菜類

【稼働日】毎週土曜日 【稼働時間】8:00～8:30 【出荷先】関東近郊スーパー

■旭川空港集荷場の様子



* 1 参考（①～③：両社共同リリース）

- ①JAL x 「世界市場」 日本産農産物の世界への輸出拡大を目指し連携
（2017年7月12日）<http://press.jal.co.jp/ja/release/201707/004349.html>
- ②JAL x 農業総合研究所 x 世界市場 「NIPPON ICHIBA」を活用した農産物の輸出を開始 ～北海道 帯広から香港へ初出荷～
（2017年8月29日）<https://www.nousouken.co.jp/934>
- ③JAL x 農業総合研究所 熊本の新鮮な野菜を北海道へ届ける取り組み締結について
（2018年3月9日）<https://www.nousouken.co.jp/1085>
- ④JAL x 農業総合研究所 空港集荷場開設に伴う業務委託契約締結について
（2019年1月7日）<https://www.nousouken.co.jp/1320>
- ⑤JAL x 農業総合研究所～新千歳空港集荷場開設に関するお知らせ～
（2019年7月10日）<https://www.nousouken.co.jp/1461>